

個別施策

数値目標

成果目標

**救急医療体制の体系的な整備**

救急医療体制の充実強化に向け、関係機関における二次保健医療圏ごとの実情に応じた連携強化等の取組を支援
医療機関の適正受診について更なる普及啓発を推進
救急電話相談について更なる周知啓発を実施
高齢者救急における医療提供体制や救命期後の適切な医療機関等への円滑な移行について、MC協議会に介護施設の参画を得て検討を実施
新興感染症の発生・まん延時に向け、医療機関と連携して重症者用病床や個人防護具等の確保、医療機関と消防機関との連携体制の強化を実施

二次・三次救急医療機関を受診する軽症患者数の割合	
現状値	目標値
79.0% (R4)	76.9% (R11)
救急医療機関、かかりつけ医、介護施設等の関係機関が参加したメディカルコントロール協議会等(県及び各地域)の開催回数(もしくは地域数)	
現状値	目標値
0回 (R4)	5回 (R11)

救急救命士のうち薬剤投与認定者の割合	
現状値	目標値
99.7% (R4)	100% (R11)

脳卒中病院前救護(PSLS)コース講習を受講した救急救命士の延人数	
現状値	目標値
299人 (R4)	432人 (R11)

指導救命士数	
現状値	目標値
38人 (R4)	50人 (R11)

救急要請(入電)から医療機関収容までの平均所要時間	
現状値	目標値
44.7分 (R4)	38.8分 (R11)

一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者に対し一般市民により除細動(AED)が実施された割合	
現状値	目標値
3.4% (R4)	5.7% (R11)

一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者の1か月後の生存率(直近5か年平均)	
現状値	目標値
10.9% (H30-R4)	12.8% (R10)

一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者の1か月後の社会復帰率(直近5か年平均)	
現状値	目標値
7.38% (H30-R4)	8.9% (R10)

一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者に対する救命措置として有効なAEDの使用法を含めた心肺蘇生法などの講習会を実施	
現状値	目標値
3.4% (R4)	5.7% (R11)

**病院前救護体制の整備**

県MC協議会を定期的開催し、より質の高い救急業務に対応できる体制を構築
傷病者の搬送・受入れ実施基準に基づく実態調査と分析を継続し、円滑な搬送及び受入れ調整等を構築
救急搬送困難事例の改善に向け、救急医療情報システムの導入を図る消防機関と救急医療機関の取組を支援
救急救命士の計画的な養成を支援
救急救命士、救急隊員等の教育を実施
メディカルコントロールに精通した指導医を養成するため指導医セミナーを実施
心肺機能停止傷病者に対する救命措置として有効なAEDの使用法を含めた心肺蘇生法などの講習会を実施

一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者の1か月後の生存率(直近5か年平均)	
現状値	目標値
10.9% (H30-R4)	12.8% (R10)

一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者の1か月後の社会復帰率(直近5か年平均)	
現状値	目標値
7.38% (H30-R4)	8.9% (R10)